自宅の鍵はトロ穴のナカ 1

天満春華
Haruka
Tenma

イジワルな指でほじられてイク…っ

S

自宅の鍵はトロ穴のナカ
～イジワルな指で
ほじられてイク…っ～

第　1　話

ふわぁ
休日でも朝は卵サンドだなぁ
すっ
コーヒーもあれば最高ー。
ドドド

すいません！
両手が塞がってたからつい…
ぶつかっちゃってごめんなさい
いいえっ
しかも可愛い…っ！
ブンブン
ばっ

518
あ
お隣さんだったんだね
小林(こばやし)って言います
そうだったんですね！
友枝(ともえ)と言います今日引っ越してきたばかりで…

荷解きがまだあるので

ちらっ

騒音でご迷惑かけるかもですけど…

ゴクっ

ゴミ出し手伝うよ！

困ったらなんでも言って！

しゅ

わーっ

ありがとうございます！

ばたん

ふーっ

お隣さんいい人で良かったー

よっと…

ひょいっ

わっ

わわっ

きゃっ

さっきの子
新社会人かなぁ

かわいかったー

あんな子が
後輩だったら
な…

ベランダに
お尻っ!?

ナンデ!?

えっ
幻覚!?

わな

さっき
あんな光景
見ちゃったから!?

わな

びくっ

ふにん

きゃっ

その声は友枝さん…？
つまずいた勢いではまっちゃったんです…
すいません
そっちから押してもらえませんか
…ていうか見えてません…よね？

え!? …もちろん！
丸見えです…!!
押してもらえますか
ドキ
いいの？
ドキ
自分だけじゃ無理そうで…お願いします！

じゃ…押すだけねっ
いくよ…！
ぐっ
ええい！もう知らん！

んんー！
ぷる
ぷる

もう一度…
押してください…
はーっ
はーっ
分かった…
ドキ
や…
ドキ
柔らかい…
ドキ
ヤバ…
ん――っ
ぐぐーっ
んぅ――っ
押せば押す程指が埋もれて…
ぐぐっ
んん…っ
はぁ
はぁ
だめだぁ…
ぐぐっ…

もっかいいくよ
すげーすべすべ…
ぐにっ
やば…
ムラッ
これは我慢できないかも…
はぁ
はぁ
お願いします
んんっ
ゴク…
んぁ
っん
ぐにっ
そーっ
あ！
ビクッ
ぱっ

ポケットに部屋の鍵が入ってたはずなんですけど

はぁ

はぁ

それ使ってこっち側から引っ張ってみてもらえませんか！

なるほど

ぽん

すかっ

——あれ

ぎっ

どっか落ちちゃったか

な…

鍵がアソコに

鍵あります？

みちっ

は…挟まってる——!?

ありました？

えーと…

えっ

うん…一応

ドキ

ドキ

ドキ

取るからちょっと…

待ってね

どんな奇跡でこうなるんだ…！

はい！

バレないようにさっさと取ってしまえば…

ちょん

むにっ

きゃっ

びくっ

どこ触ってるんです…!?

あせっ

あせっ

板との間に挟まってたから指が当たっちゃって！

わざとじゃないんだ！

……分かりました

少しだけ我慢します…

ちら
と言っても…
ぎっちり挟まってて
ぎちっ
指を奥まで入れないと
取れないんじゃ…
そー
ぴと
…っ
ビク
そんな際どいところ…っ
ぐぐ
ぐにっ
でも仕方ない
ん
我慢しなきゃ
ぴくっ
あ
ぷにっ
んっ
ちょんちょん

！
ねと
す～
濡れてる…！
ドクン
俺が触った…から？
はぁ
はぁ
触れば触る程
んっ
ピクッ
ピクッ
あっ
う
どんどん溢れて…
あっ
ちゅぷ
ちゅぷ
ちゅぷ
もっと
あっ
はっ
はっ
はっ
ん
ドク
ドク
もっと
はぁ
はぁ
はぁ
そ～

きゃあ!?
ビクッ
ちょっと何して…っ!
ばっ
な…何!? もしかして舐められてる…!?
じゅるる
んっ
や…やめ
じゅるる
やっ
あ
やめてください…っ
あっ
ぷくっ
はっ
はっ
はっ
ぬぷ
ぬぷ
中までかき分けてきて…っ
あっ——

〜〜っ
なんて声出してんの…！
ガチャガチャ
このみー？
荷解き進んでるー？
バタン
こんな所にいたの
って何やってんの？
まずい…
愛美が手伝いに来るんだった…
こけ…ちゃって…
あはは
えぇ!?
何それ突き抜けてるの!?
はぁ
はぁ
ぐぷぷ
ぬちゃ
ぬちゃ
ぐぷぷ
あっ！

ぶるっ
なっ…
…このみ？
指が中に…っ
くちゅ
ぐに
くちゅ
ぐちゃ
ぐちゃ
ぐちゃ
ぶる
ぶる
力んだら変な声出ちゃった…
大丈夫？引っ張ろうか？
大丈夫だから先に荷解きしてて
え！…
自分で無理そうなら呼んでよ？
…あっ
りがとう
ぷる

じゃあ私キッチンの段ボールから開けてくねー

ゴッ ゴッ

バレる前に抜け出さないと…

ぐちゃ ぐちゃ

ふーっ ふーっ

ぐちゃ

んっ

んっ

ぴく

声…が

掻き…回さないで

ぬちゃ

ぐーっ

はぁ はぁ

挿れ…たい

ぐるり

はーっ

はー はー

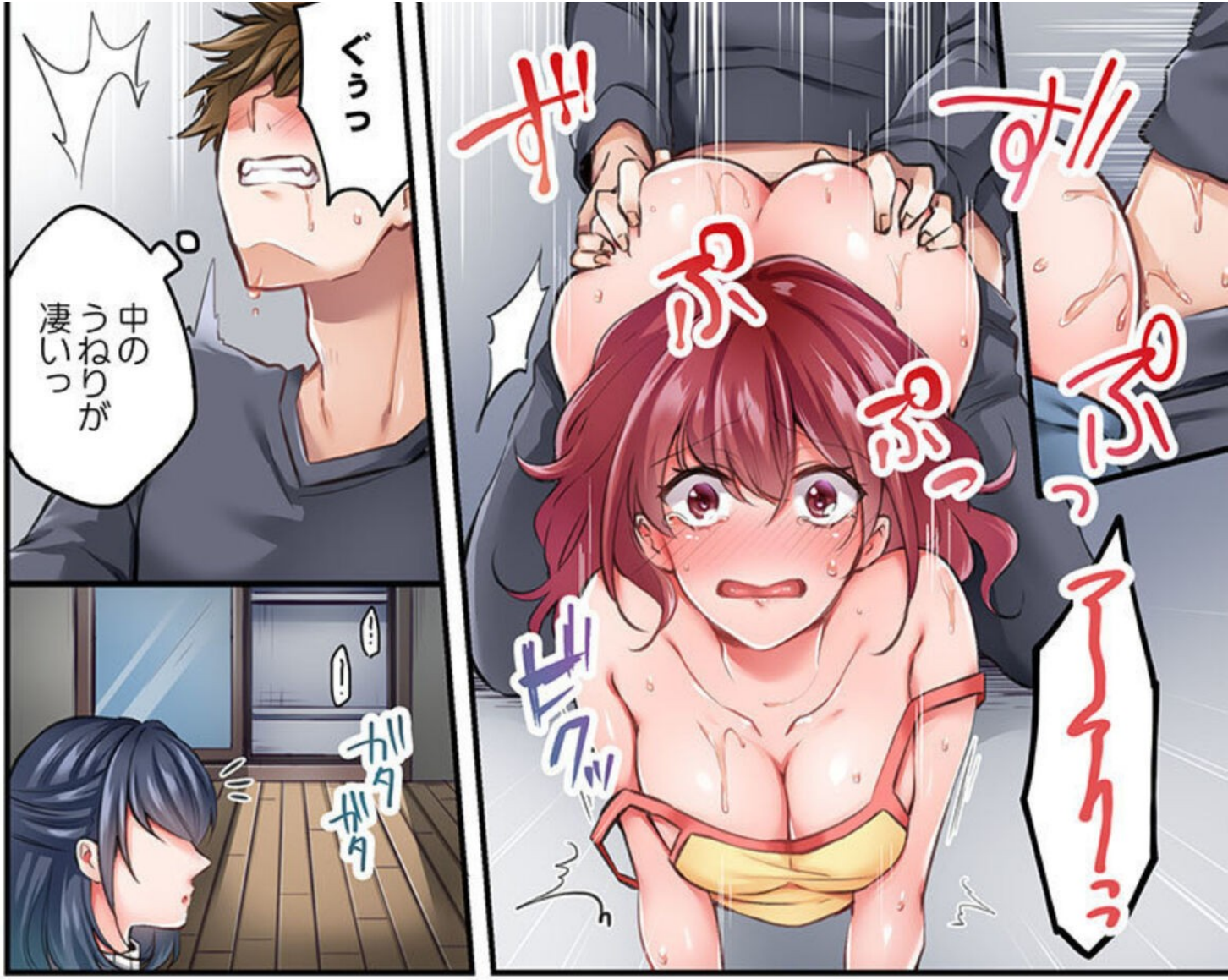
ぬちゃ

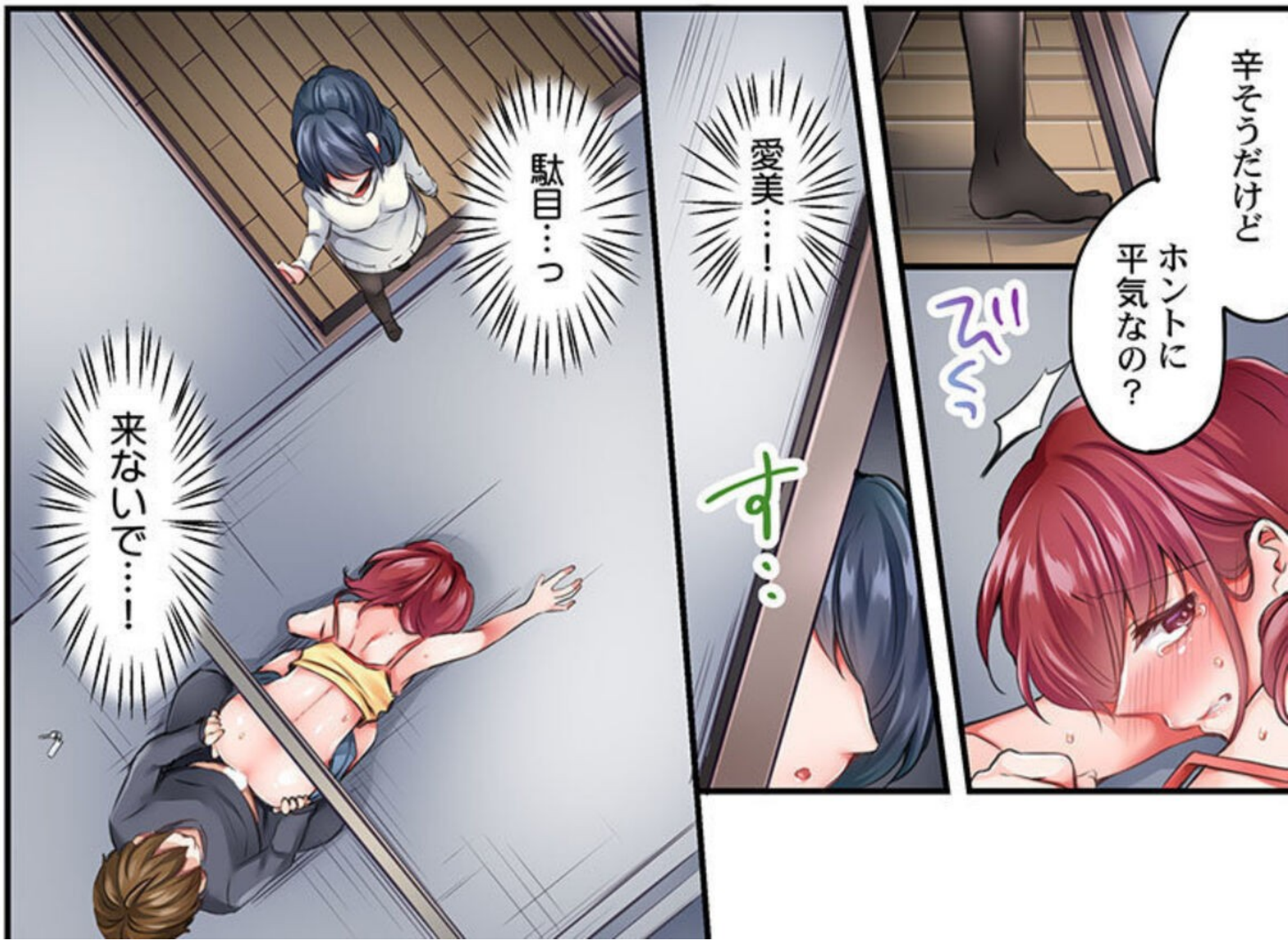
ぴく

すり すり

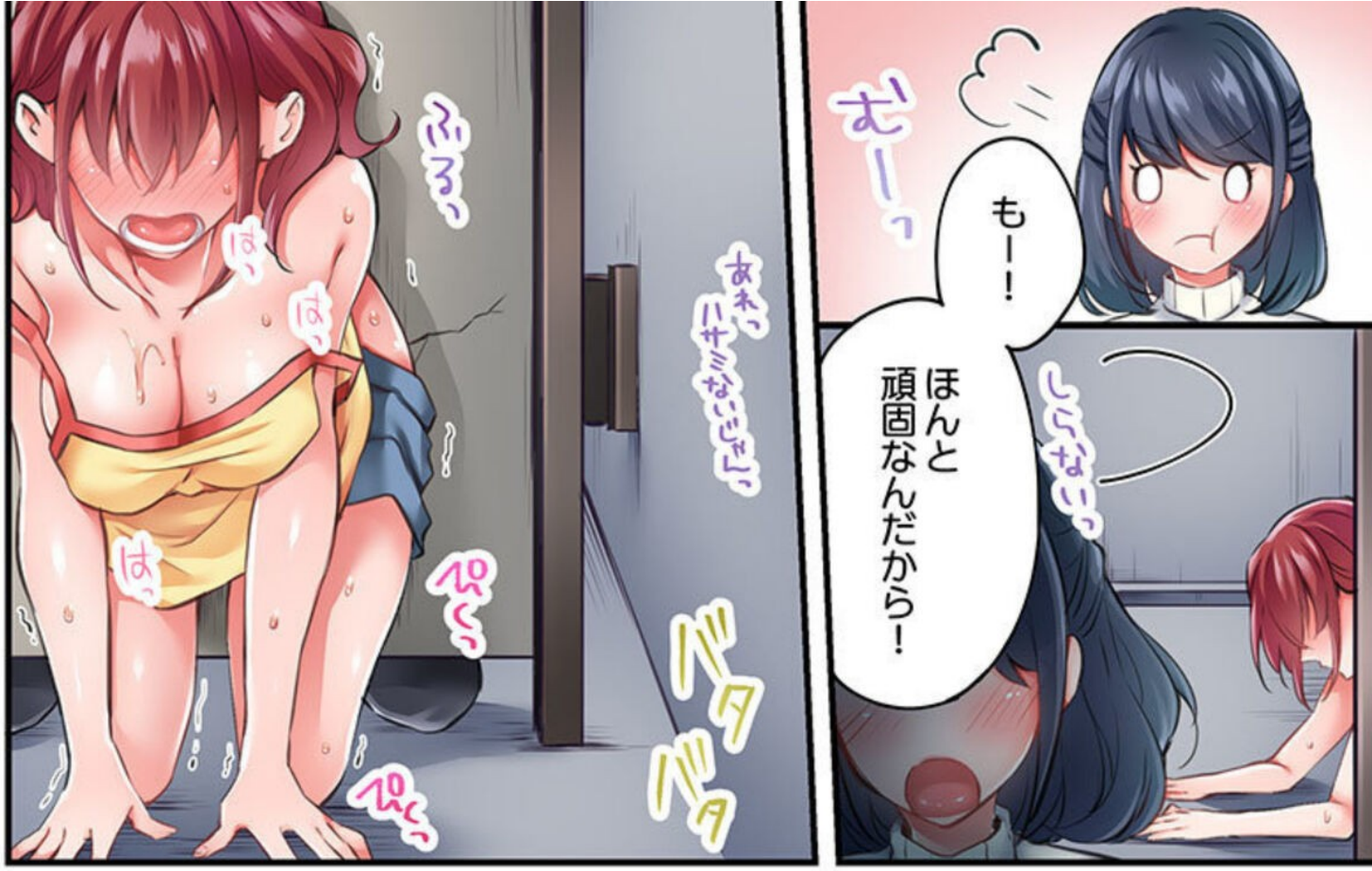
え…？

まさか


ぐうっ
中のうねりが凄いっ
ずぶっ
ずぶっ
ずぶっ
ビクッ
アーッ
ガタガタ


辛そうだけど
ホントに平気なの？
ぐらぐら
愛美…！
す…
駄目…っ
来ないで…！

ってアンタ！
顔真っ赤じゃない！
ぎょっ
怪我とかしてない!?
はっ
はっ
ぐぐっ
はぁ
違う…から…っ
はぁ


もー！
ほんと頑固なんだから！
むーっ
しらないっ
あれっハサミないじゃん
ぶるっ
はっ
はっ
はっ
ぷくっ
ぷくっ
バタバタ

ヤバい…
今のはバレたかと思った…
ドクドクドク
はーっはーっ

もう抜かないと
あっ
ぐいっ
はーっ
はーっ
はーっ
はーっ
あう
ぐっ
いい加減誤魔化せない
ぬっ
にゃぷぷ
にゃぷ
ビクッ
ビクッ
うっ
なのに…
きゃん
キャーン
にゃぷ
ぬぷっ
ぬぷ

ううっ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
くいっ
…っ！
びくっ
はっ
はっ
はっ
えっ!?
急に激しく…!?
ガタ
まっああ
ぱちゃ
ぱちゃんっ
ミシッ
ミシッ
あっ
はっ
ガタッ

何考えてるんですか…っ
ガタッ
あっ
ごめん…っ
止めなきゃいけないのは
ガタ
あっ
ガタッ
んっ
ずぷっ
ずぷっ
分かってるんだけど…っ！
はっ
なんで…っ
止まっ…
あっ
ガタ
はっ
そんなに締められたら
ずちゃ
ずちゃ
あっ
止まれるわけ…っ
ガタ

はぁ
あっ
私が反応しちゃってるから…っ
はぁ
あっん
ぐぐっ
駄目…声が出ちゃう
ぐぐぐっ
はぁ
はぁ
はぁ
離れなきゃ…
きゅうっっ
…っ！
ずっ
ずぷっ
ビクッ
どんっ
!?
ずっ
ずぷぷっ
ずんっ
きゅっ
んんーー

ぐいっ
あっ
ちゅぱ
ちゅぱ
んんっ
ずり
ぬぷ
んっ
ぴくっ
すぁ…
ちゅっ
じゅるっ
…あっ
待って…駄目です
ぐにっ
バレちゃうから…っ
…あっ
ちらっ
しん…
あれ…
ばさっ
いつの間に居なくなって…

んっ
びくっ
ずっと締め付けてたのに？
びくっ
びくっ
びくっ
ちがっ ああっ
きゅん
きゅん
やっ
ビクッ
ちょっと突いただけで体が跳ねてるのに駄目なの？
はっ
はっ
はっ
ビクッ
だめっ
やすっ
ぬちっ
ぬちっ
ぬちゅっ
あっ
やっ…やだっ…
ずっ
ずっ
ずんっ
離し…てっ
感じて…なんかっ
あっ
ここは離してほしくないみたいだけど？
ぐぷっ
ずぷっ
あぁっ
ずっ
ずぷ
ずぷ
あーっ

パッ
パッ
パッ
パッ
ナカ…っ
すごっ…
んっ
はげしっ
絡みついて…！
んんっ
はっ
はっ
はっ

今日会ったばかりなのに…っ
はぁっ
ずっ
ずっ
ずぷっ
ぎゅっ
はぁっ
はぁっ

あぁっ
あっ
あっ
やっ
体が勝手に反応しちゃう…っ
ガクッ
ガクッ
ガクッ
ぬぷっ
ぬぷっ
ぬぷっ
ぬぷっ

なんで…
あっ
くいっ

ごめ…
イきそ…っ
はっ
はっ
はっ
あっ
あっ
きゃっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
あー
びくっ
くりっ
くりっ
びくっ
あっ
んぁ
じゃぷっ
じゃぷっ
じゃぷっ
あぁ

そりくっ
そりくっ
きちゃう…っ
きちゃうっ
はーっ
はーっ
そりくっ
そりくっ
うっ…
イくっ
はぁ
はぁ
あっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
やっ
出る
出るっ
出るっ
ぱんっ
あぁんっ
あっ――

自宅の鍵はトロ穴のナカ
～イジワルな指で
ほじられてイク…っ～(1)

著者　天満春華

発行　スクリーモ

この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、
ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。